

大項目	事業所評価アンケートで該当する質問	利用者・保護者の主な意見 一部抜粋	事業所としての対応 新規) 新たに対応すること 継続) 引き続き対応すること
施設・人員	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか		施設について ・児童福祉施設の基準に則り、施設の整備を行っている ・大部屋の隣に個室を用意し、体調不良の際やクーリングの際に使用できる環境がある ・スイッチ、ボタンなど、利用者が気になるものには目隠しをしてスムーズな生活ができるように配慮している ・認定こども園と連携し、ブランコや滑り台、アスレチックなど、粗大運動に役立つ固定遊具を使用できる環境を整えている。  人員について ・有資格者、加配職員を積極的に配置している。
	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか		
	職員の配置数や専門性は適切であるか		継続) 有資格者を積極的に配置する
支援内容	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援・放課後等デイサービスの計画が作成されているか		継続) アセスメント→個別支援計画作成→支援→改善のPDCAサイクルを重視していく。  継続) プログラムの意図や狙いを明確にしていく。必要な情報を保護者にも共有していく。
	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	プログラムひとつひとつの目的を子供達は理解しているのか？何の為にやっているのか、体のどの部分を意識して使うか、どんな事に注意しながらやるのか、など。	継続) 毎週、指導計画の会議を行っていき、支援の質向上に努める。  継続) 月ごとにメインとなるプログラム(鉄棒、跳び箱等)や順番や器具に変化を持たせ、新鮮な学びと共に、利用者が必要としている活動となるように指導案を計画していく。
	子どもは通所を楽しみにしているか	毎回活動を楽しみにBeansに通っています。 今後ともよろしく申し上げます。	継続) 子どもにとって楽しさと学びを両立させたプログラムを提供していく
	事業所の支援に満足しているか		継続) 基本的には集団プログラムであるが、利用者に応じて個別に対応するなど、子ども達が安心して通所できる環境を整えていく
情報	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	オンライン参観を増やしてほしい	新規) 利用者専用のアカウントを発行し、専用のWEBページにて活動内容を閲覧できる環境を整備する  継続) 個別支援計画の更新時のほか、随時相談ができる体制を整える。
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	日頃のプログラムとその目的、スケジュールなど、具体的にどのように取り組んでいるのかなどを提示していただくと良い	
	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか		

情報共有	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	オンライン参観のことを失念していたため、直前にお知らせがあると助かる	継続) 定期的に参加(感染症対策のため、当面オンラインで実施)を行い、支援中の様子を情報共有する
	定期的にホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか		継続) 1年に1回、自己評価を公表する
危機管理	個人情報に十分注意しているか		新規) アカウント発行に際してはID登録を行い、氏名等の情報はオープンにならないように配慮する 継続) 書類、情報等は鍵付きの棚に収納している。端末操作の場合は複数のパスワードを設定している
	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか		継続) マニュアルを定期的に見直し、有事の際の対応を職員全員で共有する 新規) 避難訓練を実施していることを情報共有していく 職員は年に一度、応急救護術、AED操作の研修を受講している
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	「どちらでもない」(わからない)との回答が多かった	新規) BCP研修を受講し、最新の法令に基づき、計画を策定していく